

「安全推進委員会」

～所沢シルバー安全大会を開催～

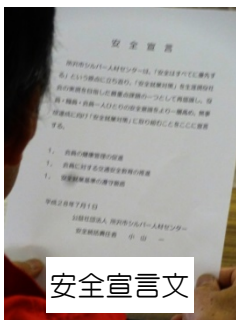
7月ニュース

7月は全国シルバーの「安全・適正就業強化月間」。これに合わせて所沢市シルバー人材センターでも1日、事務局会議室で安全大会が開かれました。安全統括責任者の小山一専務理事が「無事故達成に向け安全就業対策に取り組む」と安全宣言。40名を超える参加者が、健康管理の促進など3項目を唱和しました。

森澤弘理事長は「うっかりとしっかりは一文字違いでも中身は全く違う。日頃から安全意識を持とう」と挨拶。これを受けて安全推進委員会の井本順一委員が、会員から寄せられた110件のヒヤリハット事例を紹介し「これぐらいなら大丈夫だろうという思い込みが事故を招く。危険が潜んでいる『かもしれない』と思うことで事故を防いで欲しい」と訴えました。

そして匿名希望が多かった中、実名でヒヤリハット事例を最初に報告した延靖彦さんと、報告数が多かった新所沢西口第1自転車駐車場など5事業所に、熱中症対策に役立ててもらおうと温・湿度計が贈られました。

最後に植木職の皆さんが「服装よし!」「足元よし!」などと指さし呼称を実演。浅上勝敏安全推進委員長が「生涯現役をモットーに事故ゼロを目指そう」と呼びかけ、大会を終えました。



安全宣言文



安全宣言の唱和



井本順一委員によるヒヤリハット事例の報告



熱中症対策に役立ててと「温・湿度計」の贈呈



「服装よし!」指さし呼称の実演